

フィジー共和国への水道技術支援は、**福岡市が全国初**です！！



フィジー共和国

「フィジーのスイドウ改善中」

～フィジー共和国水道技術者の研修受け入れについて～

福岡市水道局が実施している「JICA草の根技術協力事業」(H28年度が最終年度)の一環として、下記のとおり、フィジー共和国水道技術者に対する研修を行います。

本研修を通じ、高い漏水率に悩む**フィジー共和国の給水環境改善を支援**するとともに、福岡市とフィジー共和国との**一層の関係強化**を図ります。

取材可能日(以下日程にて取材をお待ちしております)

※取材いただける場合は事前にご連絡いただければ幸いです。

日付	時刻	研修内容	研修場所	住所
7/13(水)	15:00 15:20	副市長表敬	福岡市役所	中央区天神1-8-1
7/28(木)	9:30 17:00	水道実技研修	水道技術研修所	西区大字羽根戸486
7/29(金)	9:30 17:00	水道実技研修	水道技術研修所	西区大字羽根戸486
8/1(月)	13:00 16:30	福岡市国際ビジネス展開プラットフォーム登録企業による技術・製品プレゼン	福岡市水道局	博多区博多駅前1-28-15
8/3(水)	13:00 15:00	研修成果 発表会	福岡市水道局	博多区博多駅前1-28-15

研修の全体概要

研修期間 :平成28年7月12日(火)～8月 3日(水)

研修員 :フィジー共和国 技術者5名

主な研修プログラム :

講義:漏水防止対策、維持管理 等
 実習:漏水調査、水道管接合 等
 視察:各種水道施設、施工現場 等
 討論:フィジーの課題改善に向けたディスカッション

H27実施の様子(水道実技研修)



なぜ、フィジー共和国に技術支援を行っているか

高い漏水率(50%以上)に悩むフィジー共和国が、世界トップレベルの漏水防止技術を有する福岡市(漏水率2.3%)に対し、下記のような技術協力を希望していたことから、本事業が実現しました。

- ・配水管の維持管理等に携わる技術者の育成
- ・漏水防止技術の習得等



福岡市は漏水対策を成し遂げてきた。是非、我々も学んで漏水を減らしたい。

フィジー上下水道公社
オペタイア・ラバイ CEO

※本事業は独立行政法人 国際協力機構(JICA)の事業の一環として、福岡市が提案し、実施しています。

【お問い合わせ先】

水道局 経営企画課 堀江・松岡
TEL:092-483-3107 (内148-3107)



(参考)

フィジー共和国への技術協力
【JICA草の根技術協力事業※】

事業費総額55百万円
(JICAが負担)

平成26年度から本格実施

事業名： フィジー共和国ナンディ・ラウトカ地区水道事業に関する無収水の低減化支援事業

現地の課題： 高い無収水率(50%以上)の改善

事業期間： 平成26年3月～(3年間で予定)

活動内容：

漏水の防止、修繕の技術支援
水道施設の維持管理改善に向けた支援

- ①フィジー共和国における技術水準向上のための技術者の派遣
- ②福岡市にてフィジー共和国水道技術者の研修実施
- ③資機材供与等(ホ-ダブル超音波流量計、漏水探知器など)



活動の流れ(イメージ)

調査 (実態の把握、問題点の整理)

漏水対策

漏水対策を行うテストエリアの選定

漏水調査、修理の実演・指導

成果の確認

その他必要な技術支援

- ・配水施設の維持管理改善
- ・既存施設の維持補修の改善
- ・料金徴収やメーター管理の改善
- ・営業業務など運営ノウハウ面の改善

調査団・専門家派遣
年3回、3年間で
延べ60名程度派遣

福岡市で
研修・幹部視察
フィジー人技術者を3年間で
延べ15名程度受入

事業完了後には、漏水率の低減などの成果を実感！！

事業効果

- フィジー共和国と福岡市が信頼関係を築きながら、現地の水道技術の向上に寄与
- フィジー共和国技術者の技術力向上による給水環境の改善
- 本事業に必要な資機材の国内調達等を通じて、日本の高い技術力と信頼性ある製品をPRするなど、地場企業の海外進出の契機となるよう連携



漏水の防止が課題



漏水調査のトレーニング



漏水防止に関する研修



※ JICA草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は、国際協力の意志を持つ日本のNGO、大学、地方自治体及び公益法人等の団体による、開発途上国の地域住民を対象とした協力活動を、JICAが政府開発援助(ODA)の一環として、推進し支援することを目的に実施する事業です。